

## 平成 27 年 第 1 回久御山町総合教育会議 会議録

招集年月日 平成 27 年 6 月 30 日  
招集の場所 久御山町役場議会棟 4 階特別会議室  
開 会 平成 27 年 6 月 30 日午前 9 時 30 分開会 宣告  
出席委員 信 貴 康 孝  
坂 正 義  
平 野 穂奈美  
小 寺 道 夫  
山 本 悦 三  
欠席委員 寺 井 恵太郎  
職務のため出席した者の職氏名

総 務 部 長	大 塚 健 司
総 務 課 長 補 佐	奥 野 信 太 郎
教 育 次 長	松 本 正 之
学 校 教 育 課 長	内 座 多 恵
学 校 教 育 課 長 補 佐	星 野 佳 史
学 校 教 育 課 長 補 佐	竹 内 正 浩
学 校 教 育 課 主 事 補	井 上 裕 貴
社 会 教 育 課 長 補 佐	西 野 石 一

### 会議の経過

#### 1 開会

○信貴町長 皆様おはようございます。本日は、第 1 回久御山町総合教育会議を開催いたしましたところ、皆様方にはご出席いただきましてありがとうございます。教育委員の皆様におかれましては、平素から本町の教育行政の推進に格別のご理解、ご指導を賜りまして厚く御礼申し上げます。ご存じのとおり、本年 4 月 1 日から地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行となりました。この法律の内容でございますけれども、教育の政治的中立性や継続性、安定性を確保しつつ教育行政における責任の明確化、また、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るということを目的として施行されているところでございます。これまでと違う体制の委員会のポイントといたしましては、第 1 点目に、教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置、そして、第 2 点目といたしまして教育長へのチェック機能の強化と、会議の透明化です。3 点目のポイントとしまして、全ての地方公共団体に総合教育会議を設置するというところで本町でも本日、第 1 回目を向かえております。そして、4 点目のポイントといたしまして、教育に関する大綱を委員の皆様と協議、調整をつくして首長が策定するということの 4 つのポイントとなっております。この 4 つのポイントの体制といたしまし

て、今後の教育委員会の体制が変化をしていくということでございます。本町もご存じのとおり、大きな課題等が教育行政にも山積しているのが現状でございます。この総合教育会議のこれからの開催を契機といたしまして、学校、社会の教育全般のさらなる充実発展を願いますとともに、委員の皆様方の忌憚のない意見が活発に交わされ、教育の充実に繋がっていきますことを心から願い、また、委員の皆様方にはご意見をいただきますようお願いいたします。簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

○坂委員長 皆様おはようございます。本日は、信貴町長はじめ、各関係の皆様方にご参加いただきましてありがとうございます。日頃は、久御山町の子どもたちのために手厚い政策をしていただきましてありがとうございます。久御山学園が始まってから年月が経っているわけですがけれども、まだまだ、久御山学園の理想の理念に達する途中に思えます。これまで、耐震化や学校の建て替え等、様々な政策をしていただいております。今日、久御山町だけではなく日本全国で過疎化や核家族化、ひとり親の増加、また、貧困対策が課題となっております、子どもたちの教育にも関わる問題となっております。我々教育委員会も学校訪問やPTAとの会合を重ねているわけですが、町長と教育委員会とが一致して、今後の問題点、課題、そして、施策の方向性を一つにして、ともに頑張っていきたいと思っております。本日、第1回の総合教育会議を向かえましたが、子どもたちのためになる会議にしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 2 会議の運営について

○松本教育次長（進行）

- ・出席者紹介

○内座学校教育課長

- ・会議の法的根拠《資料1に基づき説明》
- ・運営要綱・傍聴要領（案）《資料2・資料3に基づき説明》

## 3 久御山町教育の現状と課題について

○山本教育長

<小学校について>

- ・3小学校とも一定、子どもたちは落ち着いている。
- ・御牧、佐山、東角小学校とも課題のある児童は在籍しているが、大多数の子どもたちは元気に精一杯、勉学に励んでいる。
- ・昨年度の全国学力・学習状況調査の結果では、算数A、知識について、全国の平均

正答率を上回っており一定の水準に達している。

<中学校について>

・各学年に課題のある生徒が在籍している状況ではあるが、大多数の生徒は頑張っており、先生方も熱心に指導をしていただいている。また、中学3年生は進路を決める時期でもあり、生徒指導面・進路指導に対応している。

<部活動について>

・平成27年度の部活動の入部率は、全体で84%、体育系の部活では、66%。  
・文化、体育どちらも頑張っており、中体連の体育大会の成績も上位を占めている生徒が多くいる。  
・昨年度の全国学力・学習状況調査の結果は、国語、数学とも全国の平均正答率をやや下回る結果であった。

<生活習慣について>

・今年度、各小中学校に久御山学園ウィークを設け、久御山学園ニュースをお知らせした。  
・学習状況調査の結果を基に分析した結果、基本的な生活リズム、学習習慣の定着が弱く、スマホやゲームをする時間が少し多い。  
・貧困者対策は重要な課題であり、保護者負担の軽減策など色々な施策をしている。また、久御山町の就学援助率は高く、30%を超える中で、厳しい家庭環境の中で経済格差、規範意識の低さなど、家庭からの協力が得にくい状況ではあるが、家庭の教育力の向上は重要な課題である。しかし、非常に意識の高い保護者・地域の方々もたくさんおられ、協力的であり、PTA共々その活動や支援をお願いする必要があると考えている。  
・久御山学園ニュースを継続的に発行する中で保護者の協力を得ていきたい。

<施設面について>

・中学校給食の実施方法について、給食検討委員会から提言をいただき、経費、運営方法、場所などの細部を教育委員会で煮詰めているところである。この場で、町長と協議をしていきたい。  
・佐山校区に幼保一体化の推進に伴う施設整備を行うが、あとの2校区については今後の課題として残る。  
・社会教育面では、中央公民館の耐震問題、旧山田家住宅の活用が課題としてある。  
・久御山町の文化、芸術は高い水準にあり、文化祭を開催しており、文化サークル連絡協議会の設立はできたが、文化協会の設立までは至っていない。  
・施設面については、多額の財政負担が必要となる。

#### 4 意見交換

○坂委員長

・子育て支援は、他の市町村と比べきめ細かく手厚い支援をしていただいている。  
・生活習慣を改善するためには、親に家庭での教育の大切さを分かってもらうことが

必要である。

- ・久御山は、小学校3校区、中学校1校区と小さい地域で学校を中心にまとまっており、地域の方々が学校に参画しやすい環境にあるので、学校・地域・社会が連携を取りながら、学び塾のような子どもの居場所づくりを広げていきたい。
- ・少人数学級、少人数授業を進めていき、補助教員の配置等の先生へのサポートにも力を入れていきたい。
- ・久御山の児童生徒は、基礎的なことは一定できているので、応用力・活用する力を伸ばすような指導方法を考え、実践していってほしい。
- ・学校、地域、家庭が連携し、元気のある子を育てることで、規範意識が高まり学力の向上に繋がると思う。

#### ○平野職務代理

- ・保護者として子どもを久御山町で育て、そして、教育委員をさせてもらっているが、ALTの配置、少人数教育等の手厚い施策をしてもらっていると感じた。
- ・課題のある生徒はいるが、先生も熱心に指導をしており、大多数が一生懸命取り組んでいる。
- ・中学校1年生から進路に向けての話などの指導があり、子どもの意識は高まってきているが、一方で、行ける高校ならどこでもよいというような意識の低い保護者もいる。
- ・親の生活に子どもが振り回され、夜寝るのが遅くなる子もいる。親の意識を変えていき、家庭での教育を大切にしてほしい。
- ・中学校給食について、忙しい親にとっては良いと思うが、手作りのお弁当は子どもに手を掛けてあげられるという良い面もある。

#### ○小寺委員

- ・財政が厳しい中、子どもへの支援策に財源が必要となるが、継続的に続けていきたい。
- ・ハード面でも厳しい中、多くの課題があるが、できることからやっていってほしい。
- ・読み聞かせや活字に接する機会を家庭だけでなく、地域、学校で増やすことで、勉強するきっかけづくりをしてあげたい。
- ・元気な子どもを育てられるように、この場で協議していきたい。

#### ○山本教育長

- ・教育行政においては、他の市町村に先駆けて色々な施策をしてきた。今後も引き続き色々な施策を取っていきたい。

#### ○信貴町長

- ・久御山町はこれまで子育て支援については充実しており、これからもできる限り充実をさせていきたい。

- ・施設面に関しても環境の充実に努めていきたいと思っている。
- ・健やかな身体を作り上げ、育んでいくためには毎日の生活の基本が大切であり、その中でも、生活習慣を親がそれぞれ自覚を持って子どもたちに日々を送らせるかを考える仕組みができないかと思う。
- ・生活習慣が確立されて色々なところで勉強・クラブ・読書の時間が確保できていくのではないかと思う。
- ・24時間は人間には平等に与えられている時間であり、どのように使っていくかが重要であり、読書や自分を見つめなおす時間、家庭の会話等に使うことで家族・友達との絆ができてくると思うので、スマホ、ゲームに時間を費やしていることがもったいない。10年後にはスマホが当たり前で、ゲームやメールを若い時から多用する世代が親になってくると思われるので、今から考えて対処していかななくてはならない。
- ・それぞれの自治体でテレビ・ゲーム・スマホの使用時間についての啓発をしているが、子どもたち自身で問題点を話し合い、自覚できるような取組が必要。より大きな行政単位でルール化されるように伝えていきたい。
- ・食べることは成長に影響するので、口に入れるものは栄養のバランスのとれたものを提供してあげたい。ただ、弁当は親の愛情を感じることができるので、弁当の日等を考えていきたい。
- ・中学校給食の実施、中央公民館の耐震化、さやまこども園等、ハード面に関しては大きな財源が必要となるので、計画的に進めていきたい。
- ・学校現場で、課題のある児童生徒に対し、教師が時間を取られており、余裕があまりないと聞いているが、先生方があまり携わらずに教育委員会が率先して対応するというような市町村はあるのか。

#### ○山本教育長

- ・学校で起こった事案は教職員が対応する。ただし、それを支援する組織をチーム制で設けている市町もある。宇治市で学校支援チームのようなものを作られたというのは聞いている。ただ、第1番目は先生と子ども、保護者がお互い話し合う。

#### ○信貴町長

- ・身近な先生方が現状を1番知っているなので、第1番に対応されるというのは理解できるが、先生方の負担を減らす策をしている市町村もあると聞いているので、今後、研究したいと思う。

#### ○山本教育長

- ・そういう事案が多く発生してくるなら、保健師やスクールアドバイザー等の専門家を集めた形での学校支援チームも考えていく。

#### ○信貴町長

- ・2020年のオリンピック、パラリンピックに関連して、体育協会や色々な方々の意見、協力をいただきながら、本町として何ができるかを協議していきたい。地域の方々と

積極的な連携を取り、スポーツ・文化を含めて子どもたちに夢を与えられるような取組をしていきたい。

・子育て支援のあり方について、教育、医療、福祉を総合的に含めて就学前から卒業後までを切れ目なく子どもを見守れる取組をしたい。

○山本教育長

・基本的な生活習慣の充実について、家庭で考えてもらえるような親への仕掛けを教育委員会で考えていきたい。

○信貴町長

・総合教育会議を開き、密に連携を取り情報共有をしていきたい。

・教育大綱は、本日の意見を踏まえ、久御山町独自の大綱を作っていく。

午前 10 時 40 分終了